

2010年度

科目名	文化財特殊講義Ⅳ(保存・分析)B		
担当教員	三辻 利一		
配当	文財3	コード	54420
開期	後期	講時	金曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	日本における土器の考古科学研究		
目的と概要	世界中で日本ほど土器を多く発掘した国はない。考古遺物を通して過去を再現しようとする、日本では土器の考古科学研究は重要である。日本における土器の考古科学研究の実状を講義する。併せて、今後の日本考古学の将来を考える。		
成績評価法	数回にわたるレポートを通して成績を評価する。		
テキスト	使用しません。講義の都度、資料を配布します。		
参考書	必要に応じて紹介します。		
履修に当たっての注意・助言	配布する資料をよく検討すること。さらに、幾つかの参考書を読む事。		
講義計画			
第1回	日本産土器の系譜		
第2回	岩石、粘土、やきもの、土器		
第3回	蛍光X線分析		
第4回	地域差を示す元素の発見		
第5回	ビーチサンドの分析化学的研究		
第6回	花崗岩類の分析化学的研究		
第7回	窯跡出土須恵器の分析化学的研究		
第8回	5世紀代の須恵器の産地問題		
第9回	倭の五王と須恵器生産		
第10回	河内の土木工事と須恵器生産		
第11回	埴輪の胎土研究(1)		
第12回	埴輪の胎土研究(2)		
第13回	律令体制下の須恵器の生産と供給		
第14回	北限と南限の須恵器の生産と供給		
第15階	まとめ		